



令和6年度の 主要施策と予算

市では、心豊かなまち「るもい」の実現に向け、皆さんの期待と信頼に応えることができる市政運営に取り組んでいます。

問 市・政策調整課 TEL 42-1809 / 問 市・財務課 TEL 56-0025

令和6年度の主要施策

▼令和6年度は、第6次留萌市総合計画のテーマのもと、「5つの実行」として5項目を重点的な柱に位置付け、取り組みを進めてまいります。市では、市政執行方針「重要施策」と第6次留萌市総合計画「6つの基本政策」「市民に信頼される行政運営」に基づき、主要施策をはじめとする各事業に取り組んでいきます。

●市政執行方針「5つの実行」

1. 市民の生活力向上

市民誰もが生き生きと働ける元気なまちを目指し、地域産業の活性化と地元企業などへの積極的な支援により、雇用の創出や人手不足の解消に取り組みます。

2. 活気ある元気なまちづくり

市民、企業、行政が一体となり、留萌の自然環境を最大限に生かした活力ある地域づくりの基盤整備と特産品開発の強化、留萌ブランドの向上を目指します。

3. 教育・子育て環境の充実と子どもたちの夢の実現

地域で子育てを支え合う機能の充実や医療費無償化を「高校生」まで拡充する子育て世代の負担軽減、地元高校も含めた地域の特色のある教育環境やスポーツ、文化活動の充実を目指します。

4. 市民が安心して暮らせるまち

市民の命と財産を第一として、市民生活に関わる支援を柔軟かつ迅速に行い、地域医療の充実・強化や市民が利用しやすい利便性の高い公共サービスの導入に向けた環境整備を加速化します。

5. 確かな財政運営と信頼

昨今の様々な社会情勢の変化に対応していきながらも、市民生活に影響を及ぼさないよう、中期財政計画に基づく5つの財政規律や財政見通しの状況について、これまでと同様に、広報誌などを通じて市民の皆さんにお伝えしていくとともに、今後必要となる施設の整備や更新に備え、中長期的な公債費負担の適正な管理を徹底していくほか、市税などの自主財源の確保と併せて、ふるさと納税の取組強化による財源確保と有効活用を図りながら、攻めと守りの堅実な財政運営を進めていきます。

■令和6年度の主要施策（※一部を抜粋）

▼第6次留萌市総合計画の「6つの基本政策」「市民に信頼される行政運営（その他の事務）」に基づいた主要施策は、次のとおりです。

基本政策 産業・港・雇用

目指す姿「地域産業の活性化と起業の促進、働きやすい環境づくり」

継続 地元企業応援助成金 …………… 1,340万円
地域経済・雇用・まちづくり等において重要な役割を担う地元企業者の様々な事業活動や人材確保・育成等を応援することにより、地域内における持続的な経済循環の促進を図ります。

新規 地元企業人材確保応援事業 …………… 439万6千円
地元企業紹介サイトを通して、地元企業の魅力を市内・市外に発信することにより、地元企業の人手不足の解消を図るとともに、都市部から市内へ働き手となる若者を呼び込むことにつなげます。また、移住定住対策として、奨学金返還支援制度を創設し、企業と連携しながら若手社員の負担軽減を図り、移住定住者の増加につなげます。

継続 移住応援助成事業 …………… 802万円
子どもたちの勉強・スポーツ・文化活動を応援することで地域の活性化と移住人口の増加を図り、留萌市で目標に向かって意欲的に取り組みたい子どもたちを対象に家賃等の一部を助成するほか、一定の要件を満たし東京圏から留萌市に移住した方に対し支援します。
また、移住した学生を受け入れている下宿等を営む事業者に対し、運営費の一部を支援します。

基本政策 観光・交流

目指す姿「魅力あふれる留萌ブランドの発信とおもてなしの向上」

継続 モンベルアウトドア観光構築事業 …………… 405万3千円
(株)モンベルとの連携によるアウトドアアクティビティのメニュー化に向け、地元アウトドア愛好家で形成される「るもいアウトドア観光ネットワーク会議」を中心とした体験事業の実施により、アウトドアへの機運醸成を図るとともに、モンベルフレンドエリアへの登録により、モンベルクラブ会員113万人に対して留萌管内の魅力発信を行います。

継続 アウトドア観光拠点形成推進事業 …………… 1,159万3千円
アウトドア観光をけん引し、商品造成やツアー展開を担う地域DMOの登録を目指し、組織化の検討や地域での観光データ収集及び分析を行い、効果的な戦略を策定できる準備を行い、地域一体となった「稼ぐ観光」へシフトしていきます。また、旧JR留萌本線の廃線遺構を活用したモデルツアーやSL移設に係る調査設計、ミニSLの購入などを行い、道の駅るもいにおいて、旧留萌駅の面影を再現し、新たな観光客の誘客を図ります。

継続 ふるさと応援推進事業 …………… 21億5,488万円
財源確保や地域振興の促進に向け、ふるさと納税寄附募集のための広告宣伝・首都圏でのPRを実施、寄附者への返礼品の提供、ふるさと納税ポータルサイト・中間事業者との業務委託による寄附受入チャンネルの構築、また留萌にゆかりのある方へのふるさとに対する愛着と誇りを育み、留萌の応援団による地域の活性化を目指すため、東京、札幌各ふるさと会へ参加します。

新規 関係交流人口増加・移住促進事業 …………… 913万9千円
移住希望者の住居確保のため、空き家所有者と空き家利用者をつなぐマッチングの仕組みとなる空き家バンク制度の構築、移住希望者に対する相談体制の強化、留萌市を認知していなかった層と新たな関わりを築くため、地域固有のNFTアートをふるさと納税制度を活用して発行します。

新規 地域の魅力向上発信事業 386万2千円

市の関係人口の増加に向け、魅力発信のためのメディアミックスによるプロモーションを行い、留萌地域の認知度の向上を図ります。また、市若手職員のアイデア創出ワークショップを実施し、マチづくりに対する意識を高めながら発信力強化を図ります。

基本政策 健康・福祉

目指す姿 「市民の自発的な課題解決と安心した地域福祉・地域医療の充実」

継続 住民組織運営助成金 1,285万4千円

住民組織の自主活動の促進を図り、災害時における会館の確保、住民福祉の増進と連帯する地域づくりを進めるため、地域における住民組織の行政協力と街路灯及び会館維持費、会館解体費の一部を助成します。

【拡大】 町内会館解体費：会館の解体に要する経費の2/3、上限額100万円（R5は50万円）

新規 骨髄ドナー助成金 10万円

骨髄ドナーが移植手術をする際に、「職員にドナー休暇制度を付与した企業」または「休暇制度を受けられないドナー」に対し、1件につき10日を限度に、1日1万円を助成することで、骨髄移植の推進を図ります。

新規 带状疱疹予防接種助成事業 1,801万7千円

現在、任意接種となっている带状疱疹予防に効果のあるワクチンの接種に対し、その費用の一部を助成することで予防接種を推進し、带状疱疹の発症を未然に防ぎます。

基本政策 教育・子育て

目指す姿 「学校・家庭・地域が連携した教育と子育て環境の充実」

新規 子どもたちのプロフェッショナル観戦等助成金 200万円

子どもたちが現在取り組んでいる、スポーツや文化活動などにおいて、トップアスリート等の卓越したパフォーマンスを身近に感じてもらうことにより、プロから学ぶ技術、動き、魅力、楽しさ等を知ってもらうため、プロスポーツ等の観戦費用の一部を助成します。

継続 空調設備整備事業（小学校・中学校） 1,633万5千円

令和5年8月の北海道全域としては初となる「熱中症アラート」が発令される記録的な猛暑が続いたことを受け、児童生徒の熱中症を予防する環境を整備するため、小・中学校への空調設備の設置に向けた実施設計を行います。

新規 本を楽しむ空間づくり整備事業 2,795万円

市民のニーズに対応した蔵書の充実により、新規来館者の開拓やリピーターの増加等、図書館の利用促進を図るほか、館内全体への空調設備の設置により、利用者の快適な環境づくりを図るとともに、猛暑時において高齢者などが暑さをしのぐことができるスペースを確保します。

新規 学校給食費物価高騰対策支援金 1,272万円

物価高騰に伴う子育て世帯への経済的負担を軽減するため、学校給食費の改定額影響分を支援します。

新規 多子世帯学校給食費無償化事業 648万5千円

多子世帯に対する経済的な負担を軽減するために、第3子目以降の学校給食費を無償化することにより、児童生徒が安定した学校生活を送り、また、子どもを産み、育てやすい環境を整備します。

新規 児童センター・留守家庭児童会空調設備整備事業 …………… 991万1千円

児童センター及び留守家庭児童会に空調設備を設置することにより、留守家庭児童会や自由来館で来館する児童生徒の熱中症を予防し、安全・安心な環境で児童生徒の健全育成を行います。

継続 多子世帯保育料無償化事業 …………… [歳入] △ 1,459万3千円

同一世帯で複数の未就学児が保育所等を利用している場合において、3歳児未満で、かつ、保育料の算定で第2子として取り扱う児童の保育所保育料を無償化しており、令和6年度より対象を拡大し、18歳未満の子どもがいる多子世帯についても、保育料の算定で第2子以降として取り扱い、保育料を無償化します。

基本政策 防災・防犯

目指す姿「一人ひとりの安全意識の向上と地域のつながりの一層の強化」

新規 地域防災計画改定委託料 …………… 473万円

留萌市地域防災計画を、災害対策基本法などの各種関係法令や北海道地域防災計画の改定との整合性が図られ、留萌市の現況や地域特性が考慮された計画に改定します。

新規 留萌消防団幌糠分団詰所移転整備事業 …………… 2,938万4千円

留萌消防団幌糠分団詰所については昭和37年9月に建築され、62年が経過することから、経年劣化による老朽化が顕著であり、災害発生時の災害対応拠点として十分な役割を果たせないことから、詰所機能を幌糠農業支援センター内に移転し、消防、防災力の充実に努めます。また、現詰所については崩壊する可能性もあることから、解体撤去を行います。

基本政策 環境・都市基盤

目指す姿「都市機能の効率的な集積と地域資源の利活用」

継続 空き家等適正管理事業 …………… 1,020万8千円

空き家等の管理については第一義的な責任は所有者にあるとされていますが、適切に管理されていない空き家が増加しており、中には倒壊の危険がある特定空き家も存在していることから、空き家所有者に対する啓発や、特定空き家については略式代執行により市が解体を行うなど、空き家を適正管理します。

継続 海洋再生可能エネルギー発電等調査研究事業 …………… 189万1千円

将来的に留萌沖の一般海域での洋上風力発電事業を実施するため、促進区域の指定及び基地港湾の指定を目指し、国内の海洋再生可能エネルギー発電事業の先進地における取組状況の調査・研究を行います。

継続 高齢者市内バス無償化実証実験事業 …………… 1,277万7千円

留萌市内に住所を有する満70歳以上の高齢者に対し、市内バス路線の運賃を全額助成することで、社会活動の参画促進及び公共交通の利用促進を図るとともに、バス事業者への支援により、持続可能な公共交通の実現に向けた実証実験を行います。

市民に信頼される行政運営（その他の事務）

新規 出張共用車（PHEV）導入事業 …………… 521万4千円

ゼロカーボンシティの実現に向け脱炭素化を推進するため、出張共用車としてPHEV車（プラグインハイブリッド車）を導入します。

令和6年度の予算

▼令和6年度当初予算については、第2期留萌市中期財政計画に基づく、5つの財政規律を考慮した予算編成としています。

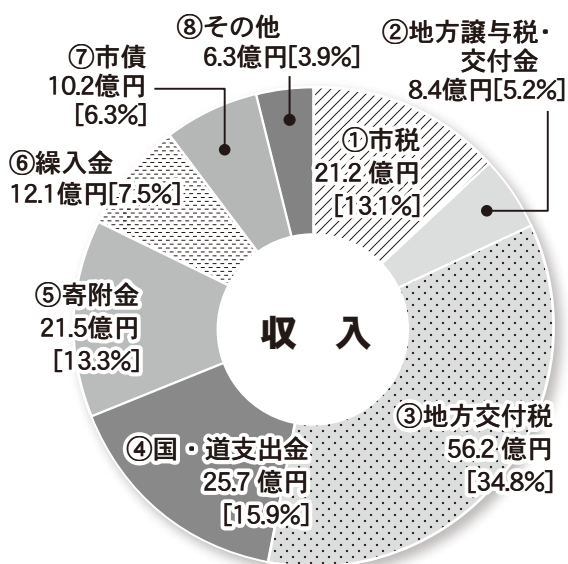
歳入では市税の減少を見込む一方で地方交付税や定額減税に伴う地方特例交付金の増加など、前年度を上回る一般財源を見込んでいます。歳出では依然として物価高騰の影響により経費が増加し、また、病院事業会計への繰出金の増加などを見込んでいることから、1億9,572万円の収支不足が発生し、財政調整基金繰入金を計上する当初予算編成となっています。

●令和6年度 一般会計予算

▼令和6年度一般会計の当初予算額は161億5,836万円となり、留萌市応援寄附金の増加に伴うふるさと応援推進事業の増加や留萌市応援基金を活用した政策事業の取組強化など、予算総額では17億581万円の増加となりました。

総額 161億5,836万円 (前年度比+17億581万円) [11.8%増]

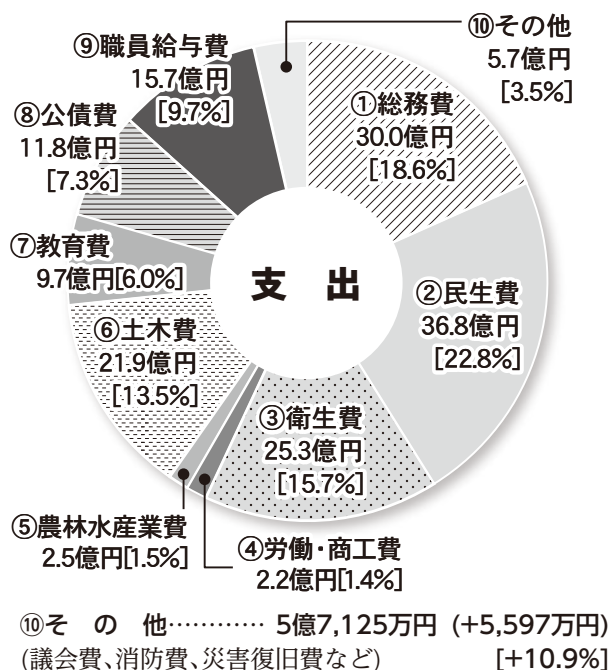
【収入】



①市税	21億1,989万円	(-1億1,048万円)	[-5.0%]
(市民税や固定資産税など)			
②地方譲与税・交付金	8億4,013万円	(+7,897万円)	[+10.4%]
(国税に対して一定の割合で国から交付)			
③地方交付税	56億1,800万円	(+1億4,800万円)	[+2.7%]
(市の財政力に応じて国から交付)			
④国・道支出金	25億7,073万円	(-4,628万円)	[-1.8%]
(国や道からの負担金や補助金)			
⑤寄附金	21億5,600万円	(+9億5,600万円)	[+79.7%]
(ふるさと納税による市への寄附)			
⑥繰入金	12億8,599万円	(+6億4,711万円)	[+100.1%]
(基金の取り崩し)			
⑦市債	10億1,780万円	(+1,560万円)	[+1.6%]
(市の借入金)			
⑧その他	6億2,722万円	(+5,929万円)	[+10.4%]
(使用料や分担金、負担金)			

【支出】

①総務費	29億9,965万円	(+12億4,732万円)	[+71.2%]
(総務管理、徴税、ふるさと納税経費など)			
②民生費	36億7,980万円	(-1億3,665万円)	[-3.6%]
(子育て支援や障がい者福祉、生活保護など)			
③衛生費	25億3,373万円	(+5億1,240万円)	[+25.4%]
(各種健診(検診)や予防接種、ごみ処理など)			
④労働・商工費	2億2,488万円	(-1億3,446万円)	[-37.4%]
(雇用対策や観光振興、地域経済対策など)			
⑤農林水産業費	2億4,498万円	(+1,621万円)	[+7.1%]
(農林水産業支援など)			
⑥土木費	21億8,730万円	(-8,087万円)	[-3.6%]
(道路の整備や公園・市営住宅の管理など)			
⑦教育費	9億6,959万円	(+1億6,795万円)	[+21.0%]
(小・中学校の運営やスポーツ、芸術文化振興など)			
⑧公債費	11億7,804万円	(-6,456万円)	[-5.2%]
(借入金の返済金)			
⑨職員給与費	15億6,914万円	(+1億2,251万円)	[+8.5%]
(市職員の給与や退職手当など)			



令和6年度 会計別予算

区 分	令和6年度予算額 (前年度比)	市債残高 (見込み額)	
		令和5年度末	令和6年度末
一 般 会 計	161億5,836万円 (+ 17億581万円)	117億9,867万円	117億1,827万円
特 別 会 計	国民健康保険事業会計	18億3,606万円 (- 1億2,647万円)	-
	後期高齢者医療事業会計	4億2,592万円 (+ 2,570万円)	-
	介護保険事業会計	20億9,205万円 (- 9,855万円)	-
	港湾事業会計	1億2,397万円 (- 1,444万円)	5億1,674万円
	下水道事業会計※	(- 12億5,573万円)	66億9,858万円
企 業 会 計	下水道事業会計※	18億8,406万円 (+ 18億8,406万円)	-
	水道事業会計	19億7,631万円 (+ 4億2,646万円)	29億4,919万円
	病院事業会計	74億1,456万円 (+ 2億8,760万円)	39億6,529万円
合 計	319億1,128万円 (+ 28億3,444万円)	259億2,847万円	258億4,812万円

※下水道事業会計は令和6年度から企業会計へ移行
(各会計ごとに四捨五入しているため、合計と一致しない場合があります。)

主な基金の残高状況

▼市の一般会計では、年度間の財源調整や市債の償還、公共施設の整備などのための財源として、15種類の基金を設けています。

区 分	令和4年度末 残 高	令和5年度末残高(見込み)(整理予算19号補正後)			令和6年度末残高 (見込み)		
		取り崩し	積み立て	残 高	取り崩し	積み立て	残 高
財政調整基金	16億8,756万円	2億5,517万円	2億3,503万円	16億6,742万円	1億9,572万円	3万円	14億7,173万円
減 債 基 金	1億円	-	2,965万円	1億2,965万円	1,482万円	-	1億1,483万円
公 共 施 設 整 備 基 金	21億6,346万円	5,465万円	5万円	21億886万円	1億2,484万円	64万円	19億8,466万円
留萌市応援基金	9億5,144万円	5億2,342万円	9億9,504万円	14億2,306万円	7億5,786万円	10億6,640万円	17億3,160万円
そ の 他	5億4,334万円	8,565万円	2,008万円	4億7,777万円	1億1,534万円	2,461万円	3億8,704万円
合 計	54億4,580万円	9億1,889万円	12億7,985万円	58億676万円	12億859万円	10億9,169万円	56億8,986万円

(各基金ごとに四捨五入しているため、合計と一致しない場合があります。)

各基金の設置目的

- ・ 財政調整基金 …… 年度間の財源の不均衡を調整するための基金
- ・ 減 債 基 金 …… 市債の償還の財源とするための基金
- ・ 公共施設整備基金 …… 公共施設整備の財源とするための基金
- ・ 留萌市応援基金 …… 留萌市応援寄附金(ふるさと納税等)を積み立てた基金
- ・ そ の 他 …… 社会福祉振興基金や芸術文化振興基金、スポーツ振興基金など

◎令和6年度の主要施策と予算の詳細については、市ホームページをご覧ください。ただし、「主要施策」に関する場合は市・政策調整課、「予算」に関する場合は市・財務課の各ページをご覧ください。

▼留萌市HP



留萌市 政策調整課 (※または財務課)

検 索